

A.Y (30代女性)

私は2020年に初めて診断士試験を受けて、1次試験、2次試験とも合格しました。

一次試験：某大手予備校（通信）

二次試験：MMC 通期コース（通信）・某大手予備校の事例Ⅳ特訓（通信）

●MMCを選んだきっかけ

2次試験が得体の知れない試験だと聞いていたので、初めから予備校に通うことを決めていました。リサーチのつもりでMMCの体験添削をしていただいたのですが、帰ってきた添削にとっても納得感があり、ここなら良さそうと他の予備校とは比べず、すぐに申し込みしました。

申し込みしたあと、1次試験に合格しないと2次試験を受験できないことを思い出しました。まずは1次試験に集中すべきと、MMCの教材は手をつけず受け取るのみとしました。送られてきた教材に本格的に手をつけたのは、1次試験の翌日からでした。

●2次試験の勉強方法

1次試験後から2次試験までの約3ヶ月間に、全ての答練の提出と、第一回、第二回の模試の受験をしました。事例Ⅳが苦手だったので、1次試験でお世話になった某大手予備校の事例Ⅳ特訓を購入し問題集を4回転、MMCの基礎問題集は5回転し、これらについては完璧に解けるようにしました。

某大手予備校の事例Ⅳ特訓は、基礎の基礎の基礎から復習できて良かったのですが、正味現在価値の求め方はMMCで習った方法のほうがわかりやすく応用がききそうだと思います。私はMMCで習った方法で計算していました。

過去問にちゃんと触れたのは2次試験の1週間前が初めてでした。事例Ⅰ～Ⅲは過去5年分の問題と解答例を一通り読んで、事例Ⅳは一度だけ解きました。

「ふぞろいな合格答案」も買ったのですが、MMCで習ったことからブレてしまうのがこわく、結局1ページも読まなかったです。

●勉強スケジュール

平日は3時間、休日は6時間ほどの勉強時間でした。仕事もあり、小さな子供2人をワンオペ（夫は長期出張で不在）育児していたので、時間の調整が大変でした。

しかし、勉強自体の辛さはありませんでした。

特に、事例Ⅰ～Ⅲは、目の前で経営者からのヒアリング結果を報告されているようであり、毎回ドラマ性にあふれた物語ばかりで読むのが楽しかったです。答練後の解説講義も面白く、勉強というよりは半分エンタメ感覚でした。

●MMCをお勧めする理由

MMCでは、合格のために作られた最適なメソッドを教えてもらえます。しかも、習得がとても簡単です。素直に従えば驚くほど簡単に文章を作れるのです。

例えば、「●●ときたら▲▲」というキーワードの組み合わせ。私は「バ〇の一つ覚え」のように、その組み合わせで文章を作成していました。講義を受け、答練を解いて解説を聞くごとにその組み合わせのバラエティが豊かになっていき、「使える呪文がだんだん増えていくRPGゲームみたいだな」と思っていました。

私の答えは、ほぼ全て、習ったキーワードの組み合わせと、与件文に書いてある名詞で構成されていました。未だによく意味を理解できていないキーワードもありますが(TPMとか)、使い所さえ間違わなければ大丈夫と割り切って使っていました。

正直なところ、出来上がる文章はとても表面的で薄っぺらいものになります。

例えば、ダイエットしたいと考えている人に、「体重を減らすためには、食事制限と適度な運動をすべき」とアドバイスしているような気分になります。「そりゃそうだけど、それが難しいんだけど」「食事制限って具体的にどうやるの?」「適度ってどの程度?」とツッコミを入れられそうなアドバイスですよね。

しかし、「このレベルで良いのだよ」とMMCの先生は納得させてくれました。独学ではこの割り切りはできなかつたと思います。

MMCでは他にも、「くぐりの言葉：これを使えば、端的でわかりやすい文章としてまとまる」「数字の箇条書き：読んでいてわかりやすい。もれなくダブリなく書ける。頭の整理にもなる。」などなど、素晴らしいテクニックも学べます。

今考えても、MMCのメソッドは本当によくできていると思います。2次試験の予備校にMMCを選んだ1年前の自分を褒めてやりたいです。

私は通信講座の生徒でしたが、講義はリアルのものを録画したもので臨場感があり、オンラインで答案の添削もたいへん丁寧にしてもらえますし、zoomでの受講相談も親身になっていただけました。先生方、本当にありがとうございました。